広報 しんち 2
1996. No.296
◎発行と編集／新地町役場・企画振興課（〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎0244㊷2111・FAX㊷3194）

まってました　藤崎劇団!!

これもひとつの生涯学習

1月19日から23日まで開催された「生涯学習のつどい・公民館まつり」に藤崎劇団が出演。斎藤洸旦さん脚本による、『名月赤城山』は、大喝采を浴びていました。

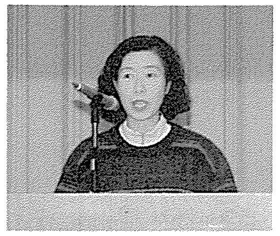
「これもひとつの生涯学習。声がかかればいつでも演じたい。」と藤崎劇団員一同張り切っています。

主な内容

公民館まつり	2～3
駅前整備	4
町の話題	6～7
お知らせ	8～9

生涯学習のつどい 公民館まつり

「生涯学習のつどい・公民館まつり」が１月１９日から２３日まで、農村環境改善センターで開催され、５日間でのべ１５００人が来場しました。
この催しは日ごろ公民館で行なわれている各種教室の発表会の場にと、今回初めて開かれたもので、作品の展示やエアロビクス、３Ｂ体操などの練習成果の発表が披露されました。
また、誰でも気軽に参加できる『言いたい放題ふれ合いトーク』やお楽しみ抽選会なども行われ、楽しい発表会となりました。

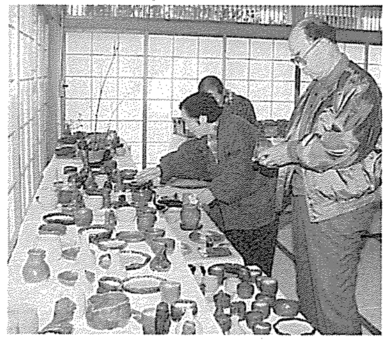

▲"公民館教室は楽しいですよ" 菊池和枝さん

▲"新地町はとても住みよいところです"とマイケル先生とジュリーさん

「言いたい放題ふれあいトーク」私も一言!!

▲心が写しだされたすばらしい作品

◀"各種教室では、こんな活動をしているのね。私も入ってみようかな"

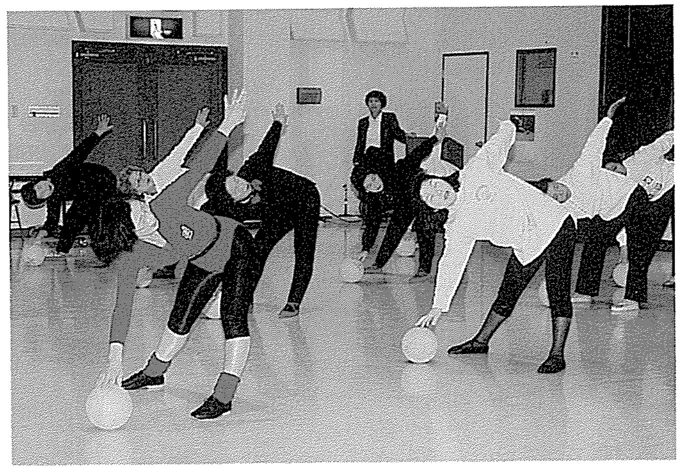

◀多くの作品展覧会も行なわれました

◀焼きそば作りに腕を奮う駒ヶ嶺料理教室の皆さん

◀屋台村も大忙し

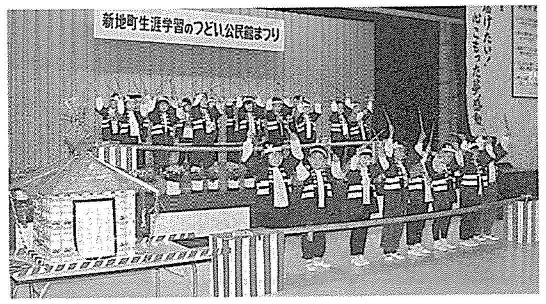
◀"鹿狼なべ""浜なべ"とってもおいしいわ!

▶青年学級の皆さんも"わたあめ"作りに挑戦

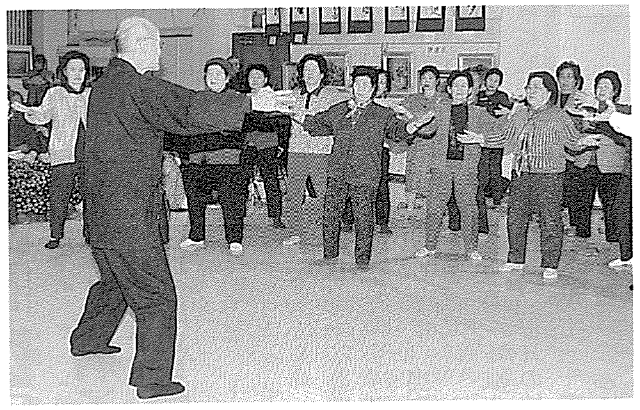

▲肩こり、腰痛も解消する３Ｂ体操

◀杉目地区の皆さんが発表した「ひまわりの笑顔」の寸劇…大爆笑でした

▲相双教育所長とテレビ電話で通話する荒町長（開会セレモニー）



▲"ヤーッ!!"保育所の園児による遊ぎ


▲観客も参加した気功体験

▲体を動かすと気持ちいいよ!!エアロビクス

▲初めての方でも楽しく踊れる社交ダンス

▲見事な歌や踊りも披露

駒ヶ嶺・新地駅 駐車場・駐輪場を整備

▲駐車場・駐輪場が整備された駒ヶ嶺駅

▲駐輪場が整備された新地駅

駒ヶ嶺駅前に駐車場と駐輪場が完成し、新年から供用を開始しました。

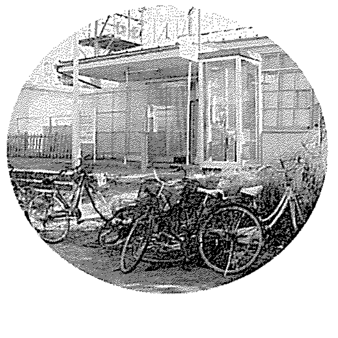
これは、駅前周辺の違法駐車解消のため、昨年九月から工事を進めてきたもので、駐車場は、二十四台の駐車スペースがあり、駐輪場は、七十二台のバイクや自転車を収納することができます。

一方、新地駅前においても、駐輪場が整備され、四月には自転車二百台が収納することができるようにさらに拡張されます。

利用者はマナーを守ろう

駒ヶ嶺、新地駅前の駐車場・駐輪場の利用状況を数日間にわたり調査しました。その結果、整然とされていない自転車が数台あり、中には、カギをかけていないものもありました。これは、他人に迷惑をかけるばかりか、悪質ないたずらを誘う原因にもなりかねません。

駐車場・駐輪場の利用は、マナーを守り、お互い気持ちよく利用したいものです。


▶駐輪場近くに放置してある自転車

保健だより
成人病予防は健康習慣の実行と検診

保健婦長　中塚　文子

二月一日から七日までの一週間、成人病予防週間と定められています。当町の死因の約六割を、ガン、心臓病、脳卒中のいわゆる成人病で占めています。毎日の忙しい日常生活の中でも三十歳を過ぎたら自分の体のことに目を向けてみませんか。突然に思える病気もその多くは後で振り返ってみると、「あの時、あの症状が前兆だった」と思うことも多いのです。

私の友人の話ですが、自分だけは絶対ガンにかからないと思っていたがある日、腕枕で横になったら乳房に違和感があり、一瞬、乳ガンではないか思い、改めて乳房にふれてみると、ころりとしこりを感じてびっくりして病院で診察を受けた結果、緊急の手術が必要となり入院しました。入院中、色々と考えてみると、食生活、定期検診、自覚症状など、思いあたることが数多くあったそうです。

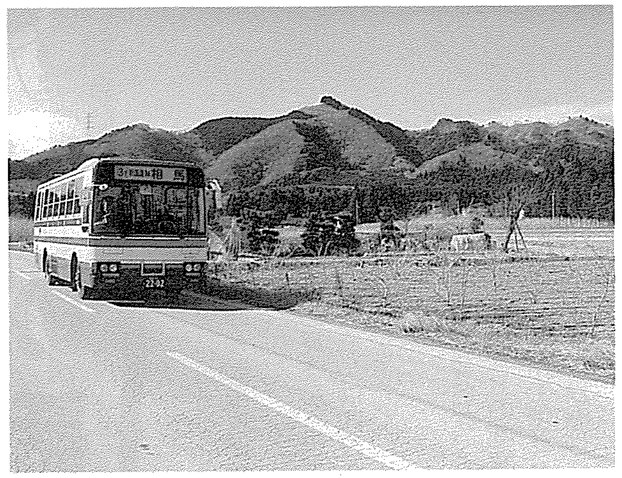
早期発見のため検診を受けよう

ガン治療の決め手は早期発見です。そのためには、まず検診。

検診の結果で要精検の方は必ず精密検査を受けましょう。精密検査を受けないことには、異常も発見されませんし、検診本来の目的を果たしません。まだ一度も検診を受けていない方は、今年は是非受けましょう。

各地区の保健補導員さんが、四月に実施する総合健診の申し込みの取りまとめに二月中に訪問しますので、どこで受けるか申し込み用紙に正確に記入し提出してください。

バスが通らない町にならないために もっと利用を！


▲鹿狼山をバックに走るバス

バスは、子供からお年寄りまで、他に交通手段を持たない人たちにとっては、欠くことができない大切な公共交通機関です。平成六年に実施した総合計画のアンケートで、バス存続についての問いに対しての回答は、『存続すべき』が全体で五四・二%と過半数を上回っており、地区別では、福田地区、年齢別では、七十歳以上の回答が多くなっています。

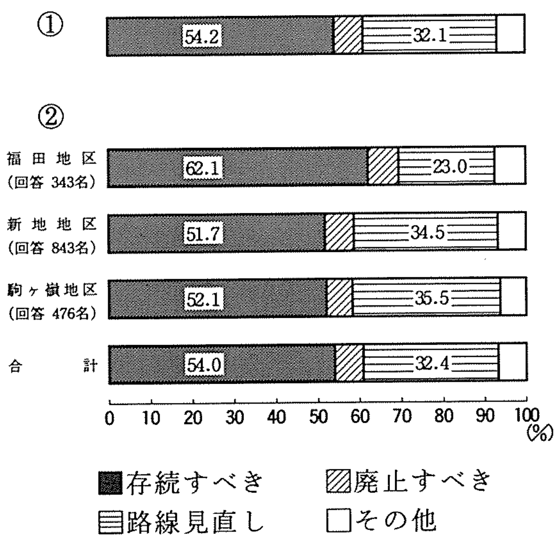
しかし、バスの乗車率は年々低下する一方にあり、釣師浜、鹿狼山、上真弓の三路線はいずれも、赤字バス路線です。このため町では、平成七年度に約千七百万円の運賃補てんを予定しており、財政的にも大きな負担となっています。

バス路線を廃止した場合の復活は難しく、また人口増を目指した町づくりにも影響を及ぼすことにもなりかねません。当面町では、現路線の維持を図り、将来においては、道路改良を進めながら、路線の見直しを行っていく方針ですが、ほとんど乗客がない路線については、廃止せざるを得ない状況にあります。

バスを存続させるためには、皆さんにバスを利用してもらうほかありません。

バスが通らない寂しい町にならないためにも、バスを利用しましょう。

総合計画のアンケート



◇社会福祉協議会へ
- 荒ツヤノさんのご遺志として
- 荒百三さん（作田）　5万円
- 森チネヨさんのご遺志として
- 森定三さん（富倉）　5万円

▽歳末助け合い運動
- 行政区戸別募金　1，059，550円
- 新地小学校　41，474円
- 新地高校　1，000円
- ボーイスカウト　20，825円

◇特養新地ホームへ
- 水戸樹一さん（新地）　5万円
- 河原栄一さん（駒ヶ嶺町）　しめ縄1個、門松5個　大福餅120個
- 早川とよ子さん（小川）　手編み座布団21枚
- 新地小学校　サルビア、葉牡丹17鉢
- 加藤喜八さん（杉目）　門松（大）　2個
- 佐藤幸吉さん（沢口）　1万円、紙おむつ

▽ボランティア
- 特養ボランティア（福田・新地・駒ヶ嶺の女性の皆さん）　23回　42人
- レマンの会　1回　3人
- JAすずらん　3回　6人
- 新地高校家庭クラブ
- 新地漁協婦人部　1回　20人
- 小川若妻会　1回　3人
- 役場女子職員　1回　4人
- 　1回　3人

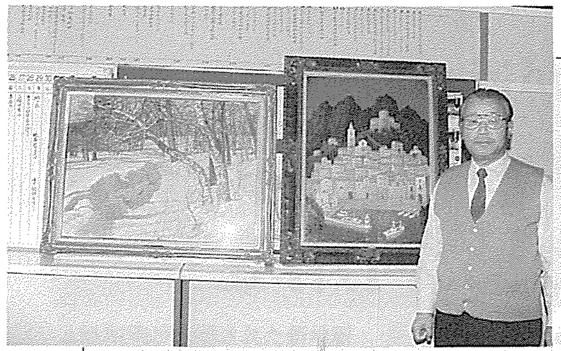
◇新地公民館へ
- 寺島浩文さん（小川）　案内版4台

母と子の健康

●母子手帳持参。●3ヵ月児健診は、通知がいきませんので予定表を見て受診ください。●該当する健診日に受けられなかった方は、翌月の健診日に受けましょう。

健康診査等	対象者	日(曜)	受付時間	場所
母子手帳交付	妊娠とわかったらなるべく早く、母子健康手帳の交付を受けましょう	2/16(金) 3/1(金)	9時～10時	新地町役場
1歳6ヵ月児健診	平成6年6月～7月生れ	2/19(月)	13時～13時15分	新地町母子健康センター
2歳児歯科健診	平成5年10月～12月生れ	2/15(木)	13時～13時15分	
マタニティ教室	妊娠中の方	2/15(木)	9時45分～10時	
1歳児相談	平成7年1月～2月生れ	3/6(水)	9時45分～10時	

町の話題



新地小学校にこのほど絵画が寄贈されました。

寄贈した方は、角田実さん・定子さんご夫妻（山元町）で、定子さんは同校の卒業生。"心の教育にぜひ役立ててほしい"との善意によるものです。

この絵画は、世界的に著名な、ハンガリーの画家『ペカリ』と、ロシアの画家『ヤヌシ』が描いたもの二点で、精密で堂々とした描写は、どことなく心の温かさが感じられる、すばらしい作品です。

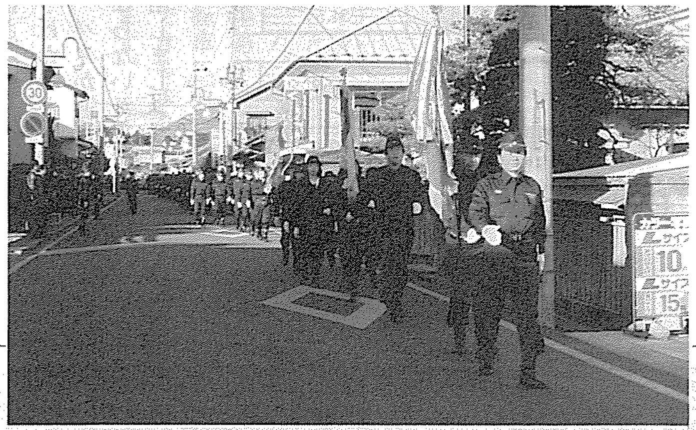
斎藤茂良校長は、「子供たちも大変関心をもったようです。心の教育のよりどころとして、いつまでも大切にしていきたい」と、話していました。

新地小学校に 世界的著名画家の絵画が寄贈

元気いっぱい元旦鹿狼山登山 過去最高1、500人参加

毎年恒例となっている元旦鹿狼山登山に、今年も町内外から、過去最高の千五百人が山頂をめざしました。

午前六時五十分、オレンジ色の光線を放ちながら、水平線から現れた初日の出とともに、万歳三唱をして、一年の幸せを祈願していました。「今年は、すばらしい初日の出だった」と、心に残る年頭を送っていました。

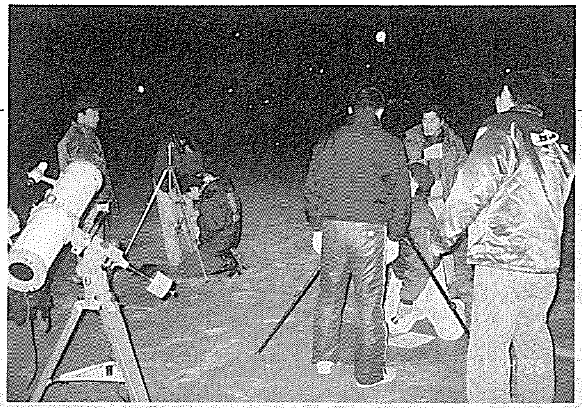


新しい作業着で 消防団出初め式

消防の出初め式が１月７日行われ、消防団員２９５人、婦人消防団員３６人が参加しました。

式では、昨年１１月に消防団員全員に支給された、新しい作業着が披露され、あぶくま信用金庫前から新地小学校校庭まで町内を行進した後、通常点検、一斉放水などが行われました。

阪神大震災の発生から１年がたち、これを契機に見直された防災活動を訓練等を通して、今年もいっそう行っていくこととしています。



いつまでも 星座が輝く町でありたい

スターウォッチングで星空観察

スターウォッチング（星空観察）が一月十三日、農村環境改善センターで行われ、小学生から大人まで二十人が参加しました。

今回で六年目を迎えるスターウォッチングは、保健環境課の主催によるもので、大気の公害調査などを主な目的としながら、星座にも関心をもってもらおうと年に二回、夏冬に開催されています。今回も"すばる"という二十五個の星団を観察しました。

参加者は「雲もなく大気が澄み切っていて、きれいでした」と、星の美しさを改めて実感していました。

"真っ白いゲレンデに多くの思い出" スキー教室 若い男女が参加

青年男女を対象とした公民館主催による、スキー交流会が一月十四日、山形県栗子国際スキー場で行われ、十五人が参加しました。「好天に恵まれ、とても楽しかった！」と、参加者は、思いでづくりをしました。

公民館では、多くの方に広い交流を図ってもらおうと、次回のスキー交流会も企画中で、他市町村からも未婚者の参加を募集しています。あなたも参加に申し込んでみてはいかが。

『カセドリ』気迫爆発！ にぎやかに行われた 厄流し

毎年恒例となっている厄流し行事が「カセドリ」が一月十四日の夜から十五日の未明にかけて行なわれ、町内の大きな話題となりました。

青森県、岩手県、秋田県では「カセギドリ」、宮城県南部から福島県にかけては、「カセドリ」といわれています。町内では、明治時代頃は、厄流しの本人が仮装して各戸を回っていたそうですが、戦後になって現在のスタイルが形成されたといわれています。

また、二十八日には、県政番組「２１０万人のひろば」でも放送され町民の話題を呼びました。

お知らせ

新地町役場／〒979－27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40　ＴＥＬ0244(62)2111・ＦＡＸ0244(62)3194

寝たきり予防・介護講演会

人生80年時代から90年時代に日本人の寿命は延びつつあります。心豊かに長寿社会を生きぬくために、日々の健康づくりのための工夫が必要です。寝たきりにならないためにどうすればよいか講演会に参加して考えてみましょう。

介護用品の展示説明会も併せて行います。

日時　2月13日(火)午後1時～
場所　農村環境改善センター
講師　中田光彦先生

特定疾患医療受給者証更新の申請を

現在、認められている特定疾患医療受給者証の承認期間は、3月31日までです。4月1日以降分は、更新申請の手続きが必要です。

更新申請書は県内の医療機関の場合、各医療機関からいただいてください。

申請期間
2月1日(木)～3月29日(金)
申請場所
原町保健所健康課健康予防係

※医療機関が2か所以上ある場合は、それぞれの医療機関ごとに更新申請が必要です。
※住民票または健康保険証の写しを添付してください。

問い合わせ
原町保健所（☎㉖1339）

相馬税務署からお知らせ

（☎㊱3111）

平成7年分
◎所得税の確定申告と納税は3月15日(金)まで
◎消費税確定申告の提出は4月1日(月)まで

心身障害児(者)療育相談会

心身障害児（者）や保護者に、保健所の職員が、家庭療育に関する必要な助言指導を行います。

日時　2月19日(月)
場所　原町保健所

参加を希望する方は役場町民課（☎㊷2111）までお問い合わせください。

スキーツアー参加者募集

公民館では、独身の方のスキーツアー参加者を募集します。スキーが初めての方には、親切に指導します。

日時　2月24日(土)・25日(日)
行き先
アルツ磐梯・猪苗代ミネロ
参加費
個人負担12,800円（スキー場の経費は含みません）
募集人数
30人（独身の方に限ります）
※町外の方でも申し込みできますが、町在住・町勤務の方が優先になります）
申込期間　2月15日(木)
申込先　新地公民館
（☎㊷2085）

ふれあい版画展 2月25日～3月3日

公民館では、絵画展で出展された先生たちによる『ふれ合い版画展』を開催します。芸術を肌で感じてみませんか。

開催期間
2月25日(日)～3月3日(日)
午前9時～午後4時
場所　農村環境改善センター
出展者　斎藤　研先生
小川正明先生他

町長日誌　荒　和英

12月
17日　寺林前国税長官グリーンファーム視察
18日　大阪造船甲・常務町長面談
　福島県電設業協会会長外町長陳情
19日　行政区長会
20日　保健センター・図書館建設工事ＪＶ構成員説明会、都市計画審議会、特養しんちホーム理事会
21日　相馬方部衛生組合定例議会
22日　健康づくり推進協議会
25日　相馬地方広域市町村圏組合永年勤続表彰
　相馬地方広域市町村圏組合定例会
26日　入札、建設省第2港湾建設事務所小名浜工事事務所長来庁
　平成8年度重点事業説明会
27日　保健センター・図書館現場説明
28日　仕事納め式
1月
1日　鹿狼山元旦登山
4日　仕事始め式
　課長会
7日　消防出初式
8日　尚英中設計コンペ審査会
9日　相馬地方広域市町村圏組合管理者巡視、県土地連懇談会
10日　区長との町づくり懇談会
11日　県山口次長、資源エネルギー庁藤田開発課長来庁
　各種団体との町づくり懇談会
14日　救難所出初式

エネルギーの新しい火が
燃える町　しんち

町の木／マツ　町の花／サクラ
町の鳥／キジ　町の魚／カレイ

戸籍の窓

▷町の人口と世帯
1月1日現在（ ）内は前月比

人口	9,128 人	(＋14)
男	4,484 人	(＋ 6)
女	4,644 人	(＋ 8)
世帯数	2,332世帯	(－ 5)

12／21～1／20届出

▷出　生（届出は14日以内に）
おめでとうございます。

(子供)	(親)	(地区)
春樹	小野勝春	釣師
有吾	鈴木国愛	藤崎
敦	三宅　裕	埒浜
郁也	中島幸広	今泉

▷死　亡（届出は7日以内に）
おくやみ申し上げます。

(死亡者)	(年齢)	(地区)
佐藤ミトリ	88歳	沢口
森　チネヨ	82歳	富倉
岩佐美音子	42歳	岡
荒　ツヤノ	90歳	作田
横山利雄	78歳	明地
菊地マサエ	83歳	鉄炮町

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

【今月の納税】

国民年金　2月分

【水道修理当番業者】

2月11日～17日	花塚熱学工業(有)	㊱2334
18日～24日	(株)トーヨー建設	㊷5151
25日～3月2日	岡元設備工業	㊷2483
3日～9日	(有)桜井設備工業	㊷4778
10日～16日	(有)加藤設備工業	㉟3454

小川原添地区 2区画 宅地分譲

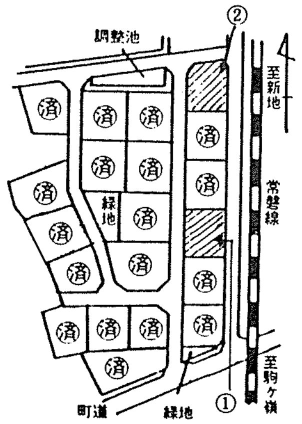
町では小川原添地区に造成した宅地2区画を次の要領で分譲します。

希望される方は役場企画振興課まで申し込みください。

―募集要領―

所在地
①新地町小川字原添15―9
面積　342・42㎡（約104坪）
価格　6,835,000円
（1㎡当たり19,960円、坪当たり65,870円）
②新地町小川字原添15―12
面積　352・42㎡（約107坪）
価格　7,175,000円
（1㎡当たり20,359円、坪当たり67,185円）

分譲区画数　2区画
施設　上水道、舗装道路、排水路
申込資格
1自ら居住する住宅を建築するために宅地が必要な方
2土地代金を確実に納入できる方
分譲条件
1住宅用地としての用途以外には使用しないこと
2住宅を3年以内に建築に着手すること
3宅地の転売および貸付は認めません
受付期間　2月9日(金)～2月27日(火)
申込先　役場企画振興課
（☎㊷2111）



お詫び訂正

広報しんち1月号、「ヘルシーメニュー」のコーナーで、銀賞作品『かぼちゃ、いもきんとん』の作者を、鈴木美恵子さんとしましたが、武澤恵美子さん(小川)の間違いです。お詫びして訂正いたします。

公民館・勤労青少年ホーム こよみ 2.6～3.5

2月

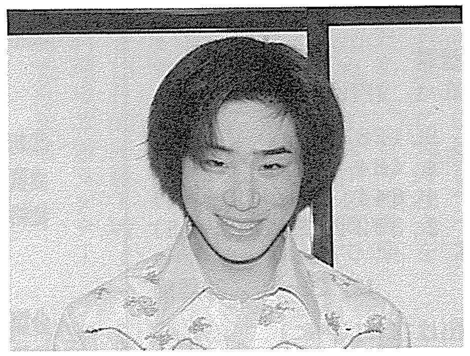
7(水)	生花教室	(午後1時30分～　新地公民館)
8(木)	着付教室	(午後1時30分～　駒ヶ嶺公民館)
9(金)	墨絵教室	(午後1時30分～　駒ヶ嶺公民館)
13(火)	手編教室	(午後1時30分～　勤労青少年ホーム)
13(火)	生花教室	(午後7時～　勤労青少年ホーム)
13(火)	移動図書館「あづま号」来町	(午後3時～4時30分　新地公民館)
14(水)	書道教室	(午後1時30分～　駒ヶ嶺公民館)
15(木)	手編教室	(午後1時30分～　駒ヶ嶺公民館)
16(金)	料理教室	(午前9時30分～　駒ヶ嶺公民館)
17(土)	3B体操	(午後1時30分～　新地公民館)
20(火)	英会話教室	(午後7時30分～　新地公民館)
27(火)	手編教室	(午後1時30分～　勤労青少年ホーム)
28(水)	生花教室	(午後1時30分～　駒ヶ嶺公民館)
29(木)	婦人学級	(午後1時30分～　新地公民館)

みんなのひろば

頑張るマン 42

何でも挑戦を

— 森竜也さん（二十歳・富倉）



竜也さんは、昨年十月から相馬市にある光洋電設に勤務し、ビルや街頭などの電気工事などにたずさわっています。「仕事に対して半人前なので、一日も早く一人前になれるように励んでいきたい」と、意欲的に語ってくれました。現在は、山形や茨城など他県の出張が多く、久しぶりに家に帰って、友だちと遊ぶことが何よりの息抜きに。週末になると、

高校二年生から始めているスノーボードをして楽しみ、たまにはパチンコもやります。今年のパチンコの成績は一勝三敗で、〝いまひとつです〟と苦笑い。また、読書、ギターなど多彩な趣味を持ち、何事にも挑戦する竜也さんです。

町に対しての要望を聞いたところ、「気楽に入れる、居酒屋風のお店ができたらいいな」と一言。また、「明るい彼女を募集中です！」と、気さくにインタビューに応じてくれました。

町の文芸

野ぶどう会

冬に入る浪のあけぼの波のこえ　代光富峰

冠雪の蔵王の山に雲はなし　渡辺たかお

やすらえば水底低き枯尾花　氏家健

極月や喜憂忘却の川の中　林よし子

綿虫の大空知らぬ性かなし　斎藤清子

うらなりを冬至かぼちゃと残しおき　桜井ヨシ子

復元の萱屋根照らす十三夜　荒やす子

冬帽子ふれ合って見る童話劇　小野トメヨ

桂林の遊船に乗る天高し　菅野京

白鳥が迎えてくれし沼静か　斎藤とも子

わが家のアイドル

長塚早也佳ちゃん

（二歳五ヵ月・埒浜）

早也佳ちゃんは、折りがみ切りの遊びが大好き。〝チョキチョキ〟とハサミを上手に使って、色々な形に切ります。活発な早也佳ちゃんでも、この時ばかりはとても静かなんです。

「素直でやさしく育ってほしいです」とママの順子さんからメッセージ。

さわやかさん 55

生きがいを持って有意義に

和田知子さん

（昭和50年10月10日生まれ　釣師）

知子さんは、仙台市の藤崎デパートで食品販売をしています。毎日、家から常磐線で通い、家路につく時は早くても七時、遅い時には十時にもなります。「できたら仙台で一人暮らしをしたいと思っています」と明るく答える知子さんにインタビューしました。

◇休日は何していますか

☆休日は週に一度か二度ありますが、寝ていることがほとんどなんです。休日がもったいないなと思うと、海などに犬の散歩に出掛けます。

◇趣味は

☆友だちとボーリングを楽しんだり、スポーツが好きです。それから読書も好きです。

◇これから始めてみたいことはありますか

☆スポーツでは、スノーボードを始めたいと思いますが、この他に、何かやりたいと思うことがないので、生きがいになるような趣味を持ちたいですね。

◇最後に町に対しての一言は

☆仙台に通っていると、町のほのぼのしているところがいいなと思いますが、もっと活気づいてほしいと思います。例えば、スーパーやデパートができればいいですね。

ハツラツおじいさんおばあさん

大家族に囲まれて

— 草野セキノさん（九十歳・沢口）—

セキノさんは、明治三十八年生まれの満九十歳。お宅は、県境にあり、五社壇のふもとに静かにたたずみ、六人の家族、犬や猫、綿羊などの大家族に囲まれて豊かに暮らしています。

家では、昔からたくさんのタバコを耕作しており、今では引退したものの、以前はセキノさんも一年がかりでタバコ作りに励んでいました。その頃の体力が基となっているのか、現在でも、ほとんど病気をしたことがありません。

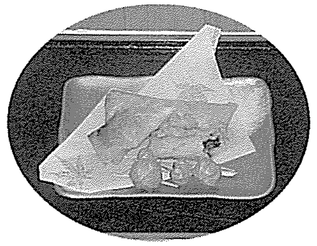
日中は、自分の洗濯物は自分で洗濯し、天気の良い日には庭に咲いている草花の手入れなど、自分のできる範囲内で家の手伝いをしています。

健康の秘訣を聞いたところ、毎日野菜を食べるように心掛けているとのことですが、二人のかわいいひ孫さんがセキノさんを慕ってくれるからでしょう。小学四年生になる典恵ちゃんが「いつまでも丈夫でいてね」と一緒に写真に写ってくれました。

ヘルシーメニュー

納豆春巻

銀賞　目黒　靖さん作（小川）



材　料

- 納豆
- エノキダケ
- シソの葉
- カニカマボコ
- 春巻きの皮

作り方

①納豆は味付けをしておく

②エノキは、しょうゆ、みりんでさっと味付けする

③春巻きの皮にエノキ・カニカマ・シソに納豆を巻いて包み、油で色よく揚げる

しんちの語り部たち⑥

ここに掲載される物語りは、お年寄りの幼いころの体験談、ラジオもなかった時代に父母や祖父母から聞いた話などを集めたものです。
昔の人々がことに触れ話題にのぼった事柄から、新地の地域性をいくらかでも感じていただければと思います。

昔のくらしの話 (2)

◇　◇　◇

語り　佐藤スヾカ氏
（福田・明治三十三年十一月二十五日生まれ　平成元年十二月十八日逝去）
平成元年五月一日談

▲代かき　（昭和初期）

養蚕と米作が生活の基盤

昔は、菜種と麦をとり、養蚕（春蚕）をあげてから田植えをした。大正年間は、養蚕の所得の方が、米の所得を上回った。田うないは、秋のうちに行った。四本鍬でうなうのは、一日に八畝が普通だった。左右の手を交互に使って起こすのだが、毎日やっていると、指が四角になった。

馬耕は大正時代に入ってから行われるようになった。田うないは、一回目を「ほっかえし」といった。

田うないなどのお昼の弁当は、麦めしにシソか大根の味噌汁がおかずだった。

農仕事は、ゆいでやっていたから、仕事にきた人たちのやすんもの（お昼）は、一升のご飯を四つのおにぎりにして、みそ汁と魚の切れ端と漬物を出した。

稲こきは、「千把こき」でこいた。一日三十束ぐらいだった。一束は六把、一反歩の稲は四十束が普通だった。脱穀には土じるしを使った。一晩に三俵ぐらいできた。

米つきは、臼でついた。わたしは一日に一斗二升を臼の入れてついた。臼の中に金（かね）の輪を入れてついた。一日に四回、五斗の白米をつくった。福田山ノ上の斎藤家と鈴木家の所、それに真弓の小屋前の所に水車があり、そこに積んでついたりもした。

神様を厚く信仰

月山や湯殿山へのお山参りに行く者が身を清めるため、各部落の水の便利な所に「お行き屋」があった。参詣者の家族たちも、このお行き屋で身を清めて、旅の安全を祈願した。

お山参りから帰ってくるころは、隣近所や親類の者たちが参詣者の家に集まって唱えごとをして待っていた。参詣者は白装束、きゃはん、手っ甲の姿だった。

お正月のお精進あげは、三日間だが、最後の朝に降りものがあると、袋ばたきといって一日を追加した。

羽山講は、わたしが十二歳ごろまでは、みんな宿にとまったものだ。山神講のときは、料理を五種類つくった。山神様には、弊束、おぶく（白ご飯）、お神酒、三ごん魚をもっていって供えた。

山神様は、各部落にあった。

◇　◇　◇

「しんちの語り部」たちは、目黒美津英教育長の「聞き書きノート」を基に広報担当が編集したものです。

表紙に寄せて

町の催し物などに、度々登場する藤崎劇団。「本当は恥ずかしいんですよ」と役者さんたちは話すものの、真剣さの中にもユーモアを交えての演技力は、まさにプロ顔負けで、いつも客席から笑いが沸き上がります。日常と違う芝居の世界を思う存分楽しんでいるようで輝いて見えます。

こちら編集室

五日間にわたり、町づくり懇談会を開き、多くの方に出席していただきありがとうございました。皆さんのご意見を行政に反映させるために私自身広報の立場で努力していきたいと思います。（M）